

第4章

今後のまちづくりの進め方

1. 計画の目標

1 計画の目標

(1) 指標設定の考え方

本地区では、将来像である「なつかしさと新しさが交わる 安全・安心・すみよいまち」を目指し、ハード・ソフト両面でまちづくりの取組を進めていきます。しかし、将来像が示す状況とは、計画に基づく取組の実施により物理的にまちが変わるだけでは不十分であり、その変化が地区住民をはじめとした本地区に関わる人々に受け入れられ、効果を感じてもらえることが必要です。つまり、将来像の実現のためには、住民に、「鐘ヶ淵に住んでいて良かった」「これからもここに住み続けたい」、そして「やっぱりよかった」と感じてもらうことが重要となります。そのため、本計画の達成状況の確認においては、取組そのものの進捗だけでなく、その効果を地区住民が感じられているかを指標として設定し、その状況を把握することとします。

区が継続して実施している「墨田区住民意識調査」は、住民がそこに住んでいてどう感じているかを問うアンケートであり、経年変化を確認する上でも有用であることから、当該アンケート調査の結果を数値指標に設定します。

本計画はまちの将来像を示し、その実現に向けた取組の内容を整理していますが、取り巻く環境へ対応していくため、10年後を目途に計画改定を予定しています。そのため、目標についても、10年後の中間目標と、最終的な目標値と設定することとし、適時状況を把握していきます。

(2) まちづくりの視点ごとの目標値

数値指標はまちづくりの6つの視点毎に設定し、墨田区住民意識調査※¹の調査区分※²より、本地区含むAブロック（東向島四～五丁目、堤通二丁目、墨田一～五丁目）における数値を採用します。

なお、目標設定にあたっては、令和6年調査時の値を基準とし、中間目標は概ね10年後として設定します。

- ※1 墨田区住民意識調査：区民からの意見を区政運営に役立てるため、区が隔年で実施している意識調査
集計結果は評価点として集計（評価点は-2.00点～+2.00点の間に分布し、0.00点が中間点、+2.00点に近いほど評価は高く、逆に-2.00点に近いほど評価が低いことを示しています）
- ※2 調査区分：住民意識調査の集計区分で、北部地域5地区、南部地域3地区の計8地区に分類しているもの

交通ネットワークを整える

鉄道立体化をはじめとして、交通に関する取組を進めることにより、住民に交通の便が良くなった、安全性が高まったと感じてもらうことが大切と捉え、次の目標を設定します。

指標	基準	中間目標	最終目標
交通の便に関する評価点	0.83 Aブロックは第8位	 0.95 第7位以上	 1.16 区北部平均以上
交通の安全性に関する評価点	0.20	 0.23 区北部平均以上	 0.29 区平均以上

災害に備える

燃えにくいまちづくりの取組や地区内道路の整備などによる円滑に避難できる避難路の確保により、災害時の安全性が高まったと感じてもらうことが大切と捉え、次の目標を設定します。

指標	基準	中間目標	最終目標
災害時の安全性に関する評価点	-0.14	 -0.11 区南部平均以上	 0.00
不燃領域率	58.9% 令和4年現在	70.0% 整備地域における目標値	70.0% 整備地域における目標値

にぎわいをつなぐ

駅周辺の再整備や鐘ヶ淵通り沿道への店舗などの誘導により、買い物がしやすいまちになったと感じてもらうことが大切と捉え、次の目標を設定します。

指標	基準	中間目標	最終目標
買い物の便に関する満足度	0.77 Aブロックは第8位	 0.82 第7位以上	 1.04 区北部平均以上

うるおいを取り込む

あらゆる機会を捉え公園などの整備を進める他、荒川や東白鬚公園へのアクセス性を向上していくことで、公園の利用しやすさや生活の中に緑が増え、うるおいを感じてもらうことが大切と捉え、次の目標を設定します。

指標	基準	中間目標	最終目標
公園・遊び場に関する評価点	0.41 Aブロックは第8位	 0.54 第7位以上	 0.57 区北部平均以上
住宅市街地総合整備事業で整備する公園等の面積	0m²	—	2,000m²

住環境を維持・向上する

新規居住支援とまちづくりルールなどによる住環境の整備により子育て世帯や若年世帯に選ばれる居住地づくりに加え、事業協力者の方が地域に住み続けられる仕組みづくりを通じて、住環境向上の実感や、住み続けたいと感じてもらうことが大切と捉え、次の目標を設定します。

指標	基準	中間目標	最終目標
定住意向を持つ割合 (ずっと住みたい ・当分の間は住みたい)	85.7%	 87.5% 区平均以上	 89.3% 第1位
生活環境に関する総合点	0.36	 0.37 区北部平均以上	 0.41 区平均以上

地域への愛着を深める

本地区のアイデンティティを大切にする意識醸成を図りつつ、まちづくりの検討を広く検討していくことで、地区の良さを感じてもらうことが大切と捉え、次の目標を設定します。

指標	基準	中間目標	最終目標
隣近所の人情に関する評価点	0.46 Aブロックは第2位	 0.53 第1位	 向上 第1位を維持
景観・まちなみに関する評価点	0.32	 0.33 区北部平均以上	 0.37 区平均以上

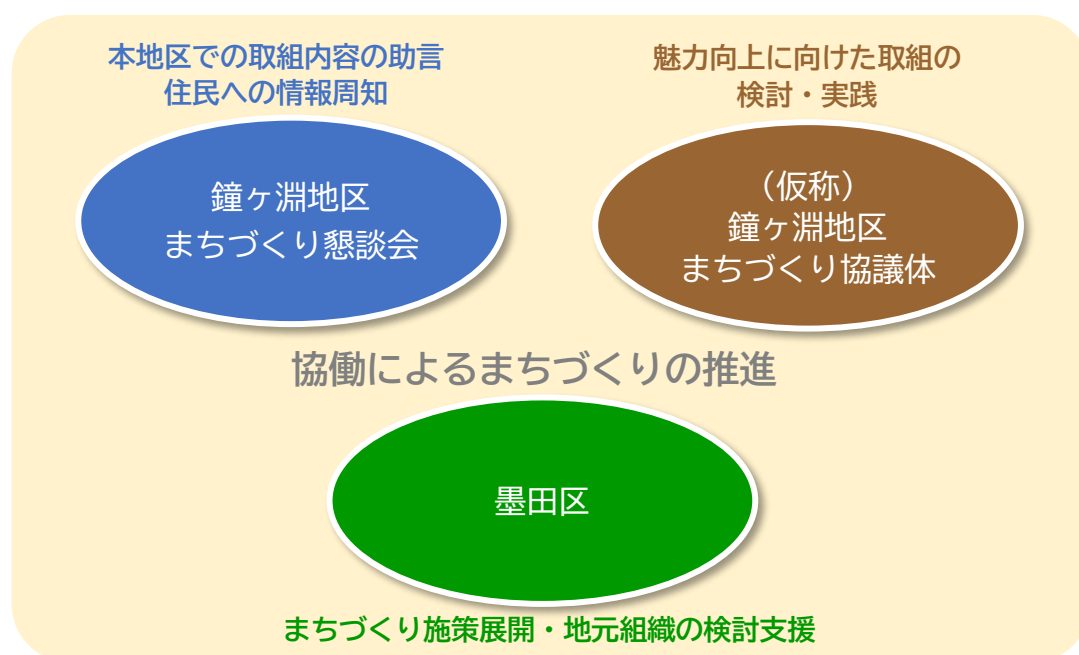
(3) 今後の進め方

① まちづくりの推進体制

本地区では、防災まちづくりを推進していくための地元組織として、地元町会・商店会・小学校 PTA から選ばれた委員と都区の行政職員からなる「鐘ヶ淵地区まちづくり懇談会（以下「懇談会」という。）」が組織されています。

本地区のまちづくりは、引き続き懇談会と区が連携して進めていきますが、地区住民を含めた様々な主体が参加するまちづくり組織（（仮称）鐘ヶ淵地区まちづくり協議体）を立ち上げ、「将来像実現に向けた6つの視点」として挙げたテーマに対して検討・提言をいただき、官民協働により本地区の魅力を高めるための取組を検討していきます。

図 4-1.本地区におけるまちづくりの推進体制



1) 鐘ヶ淵地区まちづくり懇談会

懇談会は、本地区において、災害に強く、うるおいと活気に満ち、安心して暮らせるまちづくりの推進を目的とし、平成 12 年度に発足した地元組織です。

懇談会は本地区内の町会・商店会・小学校 PTA からの選出委員及び行政職員により構成されており、まちづくり計画に関することや地区内の防災まちづくりの取組について内容の確認や行政に対する助言などを行っています。

図 4-2. 第 44 回鐘ヶ淵地区まちづくり懇談会の様子



出典：墨田区ホームページ

② 地元への情報周知

本地区におけるまちづくりの進捗や検討状況については、おしらせ・ニュースなどを地区内各戸へ配布したり、鐘ヶ淵まちづくり掲示板への掲示を行う他、墨田区ホームページや SNS などへの掲載を行うなど、継続的に情報発信を行います。

また、パネル展など、まちづくりについて区から直接ご説明し、意見交換できる場についても適宜開催していきます。

図 4-3. 鐘ヶ淵地区まちづくりニュース第 40 号



出典：墨田区ホームページ